

プロジェクト 「GPSと連動した学内地図アプリ開発」

チーム
「学内地図」

目次

現状把握

目的

アプリ開発

問題点と対策案

今後の日程

メンバー

- 車谷 和彦 ~ リーダー
- 松本 征也 ~ パワーポイント
- 亀元 良太 ~ 仕様書
- キム セヨン ~ 図説

- 坂井祐介 ~ TA

現状把握①

- ・学内に設置されている地図

個数・・・東地区 3個 + 西地区 4個 = 計 7個

⇒現在地がわかるが、地図に限りがある

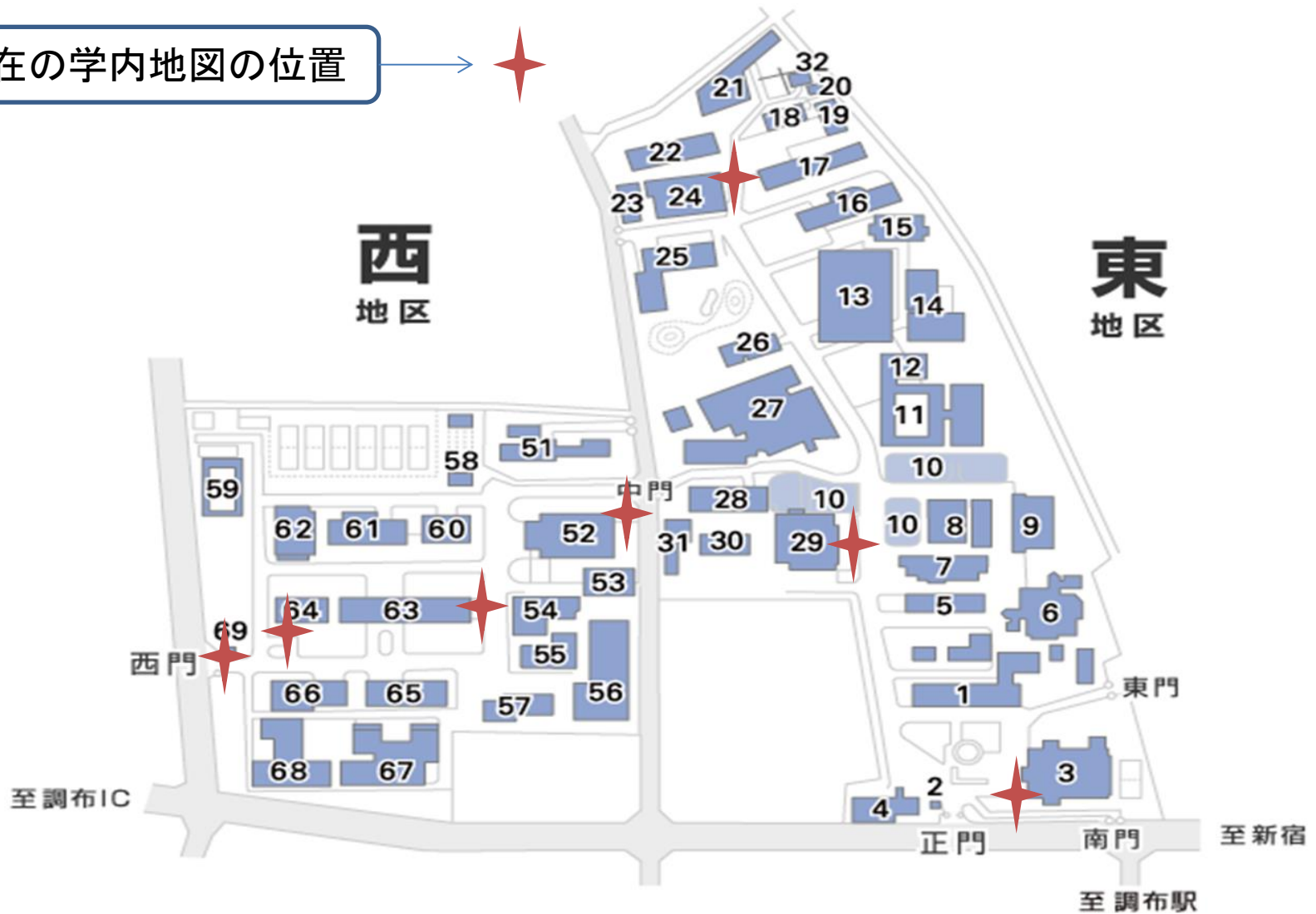
- ・電通大HPに掲載されている地図

⇒大まかに把握できるが、現在位置がわかりづらい

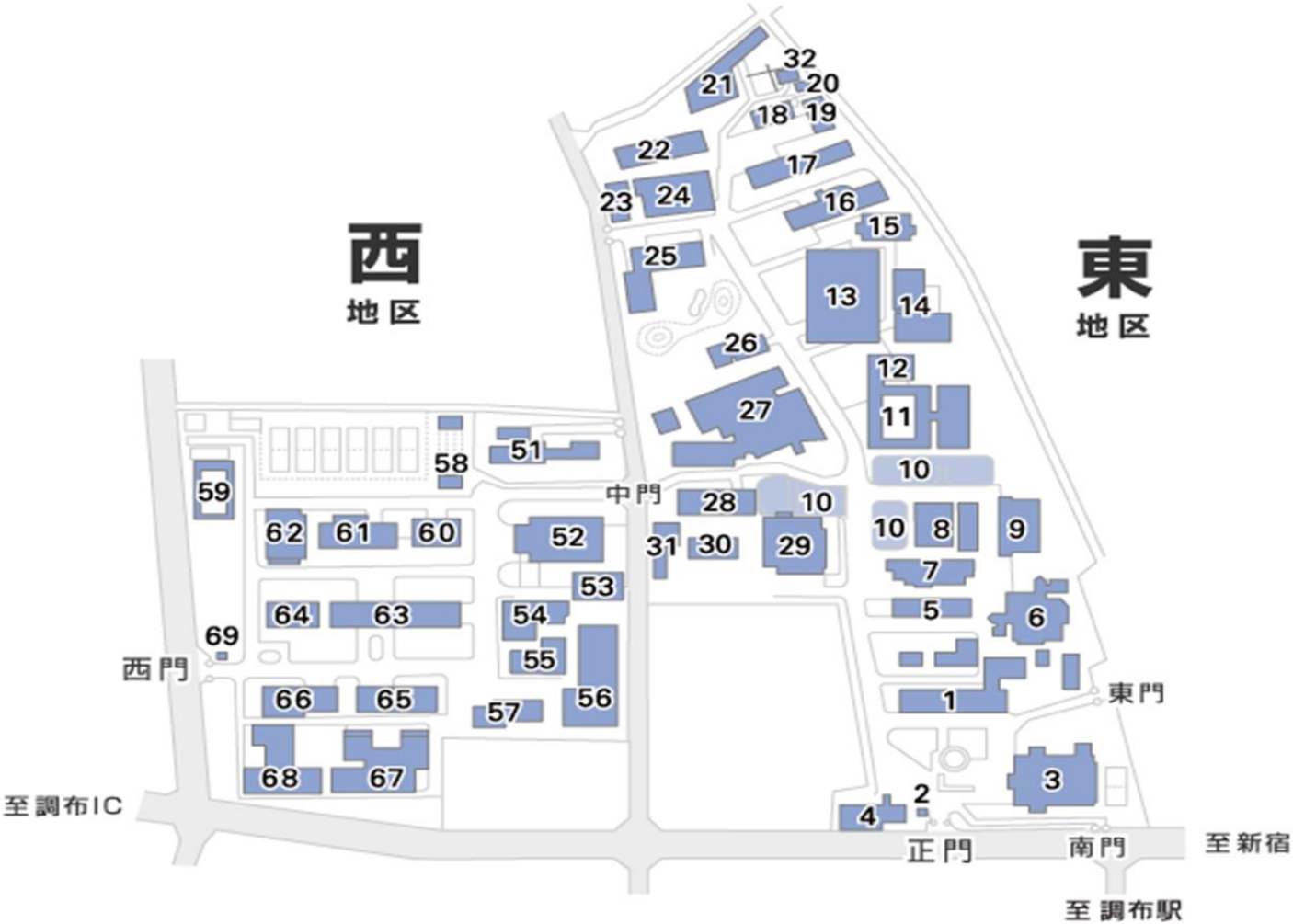
(地図と実際の建物が一致しづらい)

学内の地図の設置場所

現在の学内地図の位置



電通大HPの地図



現状把握②

- ・グーグルマップなどのアプリの利用

⇒GPSで現在地がわかるが、建物などの細かい情報がない



以上のことをふまえると...

- ・問題点がいくつもあり、上記のものを利用して迷う場合が予想できる

目的

現状で学内の地図やHPの地図などを利用して出た問題点を改善し、大学をより利用しやすくする。



手段

GPSと連動した学内地図アプリの開発

アプリ開発

現在地の表示(GPS) + 詳しい地図情報

さらに...

時間割との連動機能

電通大でのイベントとの連動機能

システムの構成①

○app store

iphone developer programの登録、購入と厳密な審査が必要

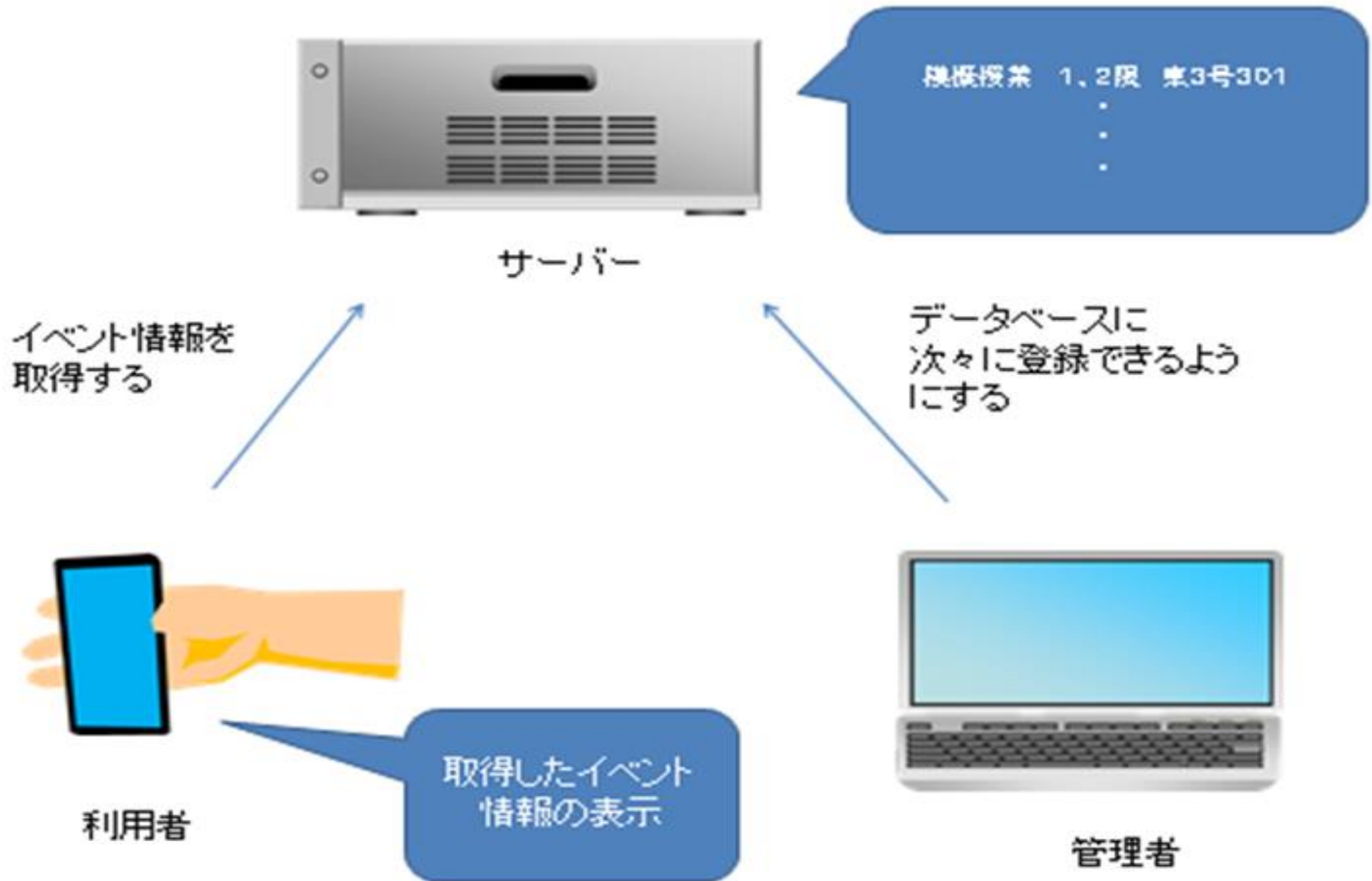
○そのほかのマーケット(google playなど)

最低限の審査だけで出品できる



Androidによる開発に決定

システムの構成②



< イベント情報の画面 >



探したいイベント場所の情報を検索する

位置とイベント情報の検索結果を表示

現在地を表示

<時間割入力画面>



時間割を入力

<時間割連携の画面>

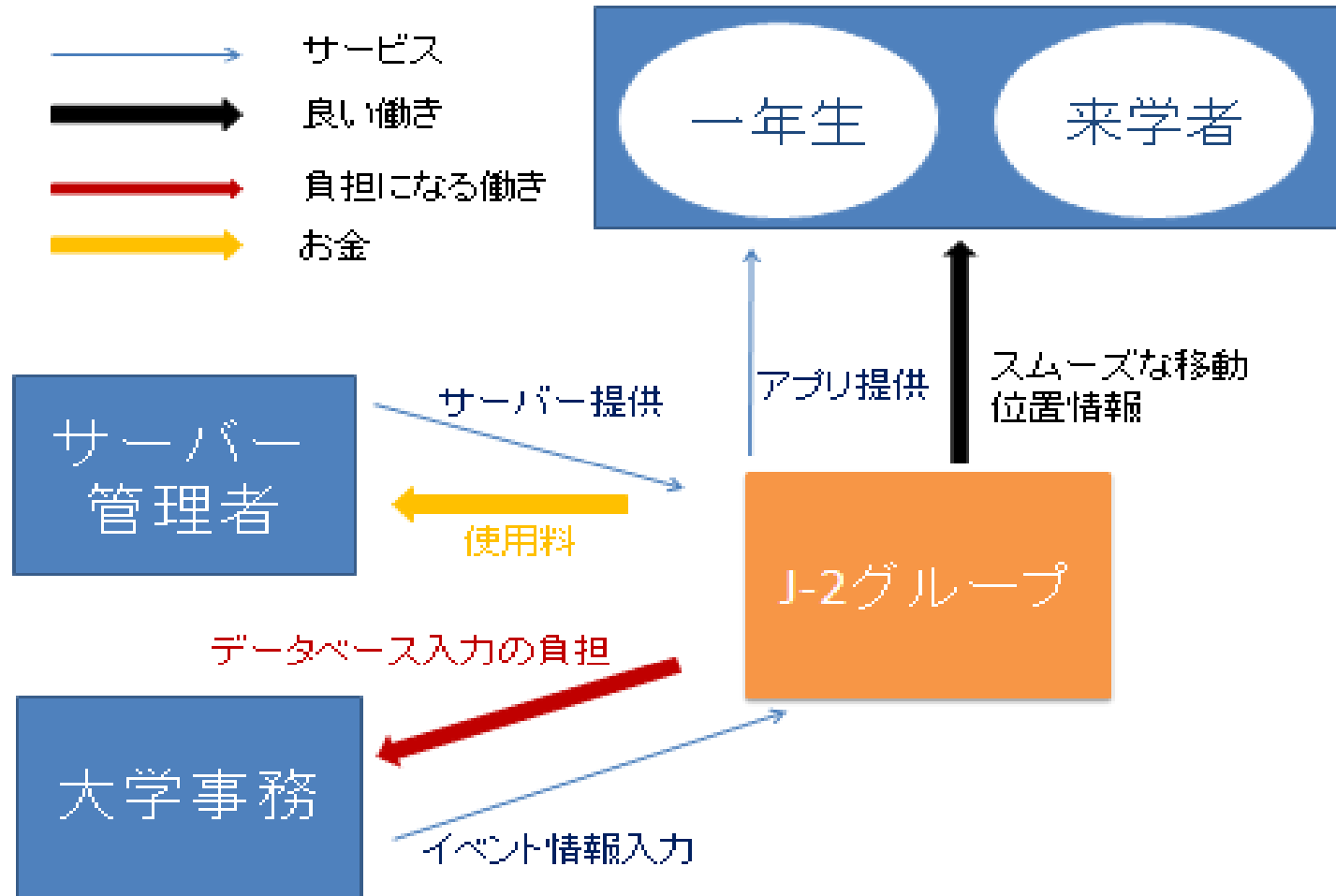


授業開始10分~終了時まで
表示

タッチして時間割を表示

現在地を表示

ステークホルダー分析



問題点と解決案①

問題点

技術的な知識の不足



解決案

EDの先生方の協力をお願いする
専門書を見て調べる

問題点と解決案②

問題点

管理システムの維持

建築物変更時の地図の変更

イベント時のシステム変更

その他、バグ修正などのシステム変更



解決案

EDで受け継いでもらう

学校の事務員にお願いする

問題点と解決案③

問題点

どのように電通大の学生や外部の人にこのアプリを知ってもらおうか



解決案

電通大HP、パンフレットなどにこのアプリの詳細とURLを掲載させてもらう

今後の日程

| | | | | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|-------------------|--|--|--|-----|-----|-----|----|----|----|
| クライアント | 学習領域計画 | | | | ↔ | | | | | |
| | プログラム作成のための学習領域調査 | | | | ↔ | | | | | |
| | クライアント計画書 | | | | ↔ | | | | | |
| | エラー予測対応書 | | | | ↔ | | | | | |
| | 検証結果報告書 | | | | ↔ | | | | | |
| | 改善計画書 | | | | ↔ | | | | | |
| サーバ | サーバ計画書 | | | | ↔ | | | | | |
| | コスト調査書 | | | | ↔ | | | | | |
| | エラー予測対応書 | | | | ↔ | | | | | |
| | 検証結果報告書 | | | | ↔ | | | | | |
| | 改善計画書 | | | | ↔ | | | | | |